

平成31年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：23008

学校名：福移小学校

改訂のポイント		<p>○「自ら計画的に学ぶ力」「発信する力」の重点的な指導の継続</p> <p>○「授業のUD化」と「課題探究的な学習」推進のための基礎的・基本的な知識の定着を図る指導の充実</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆『主体的に学ぶ子ども』・・・9年間の学びのプログラムを通して6つの力を大切にしながら自ら学ぶ子どもを目指す</p> <p>①自ら進んで取り組む力（主体性） ②自分らしく表現する力（創造性） ③問題を解決する力（問題解決力）</p> <p>④友達と協力する力（協働性） ⑤自分で決める力（自己決定力） ⑥自分を伸ばす力（自己成長力）</p>		
題 「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>■算数のTTや少人数で学習を進めることができるよさを生かし、授業の中に個別指導の時間を取り入れて、一人一人全ての子の問題解決に深く丁寧に関わっていった。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒全学年実施の札幌市の共通指標で「わからないことがあった時に友だちや先生に聞くようにしている」「勉強していて楽しいと思う時がある」の評価に伸びがあり、9割5分を超えている。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇共通指標で「自分で疑問やめあてをもって学習に取り組む」という項目で僅かだが評価を下げた。授業中、集中力が持続しない子が見られる。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>■各教科、単元の見直しをし、自分の考えを書く指導の充実を図っていった。</p> <p>■考えがうまく伝わるように内容や順序をよく考えさせる指導の充実を図っていった。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒「意見を書くときその理由もはっきり書く」ように心がける子の割合が増え、ほぼ9割になった。「話の内容・順序を考える」「人の意見から自分の考えを見直す」子の割合も増えてより考えて表現しようとした。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇「授業中、自分の意見を進んで発表」したり、「意見の違う人ともよく話し合おう」としたりしている子の割合がわずかだが下がり、共に8割くらいになった。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>■家庭学習の取組を大切にすることや朝学習の15分間を効果的に使うことに力を入れた。宿題の内容や家庭学習の取組について共通理解を図った。漢字や計算練習など基礎・基本の学習の定着を図った。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒全国学力学習状況調査の結果から、国語・算数の教科共に全領域の正答率が全国の平均値を大きく上回る結果となった。朝学習の時間を、ドリルやプリント等を効果的に使い、習慣化させることができてきた。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇「普段から計画的に学習する」子の割合が前年度と同様で7割程度と少なく、勉強の仕方も含めて家庭と連携した継続した学習への取組が必要である。</p>
改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>授業のUD化を意識して、課題探究的な学習を進めるための基礎的・基本的な知識の定着を図る指導の充実</p>		
	具体的な改善策（取組）	<p>○さっぽろっ子「学び」のススメの「まほうのかいわ」を基に、家庭と連携して家庭学習に取り組むことができるようにしていく。</p> <p>○朝学習の時間を効果的に使い、基礎・基本の学習の定着を図る。</p> <p>○算数TTなどを活用し、個別指導の充実を図る。学習の定着を図ることができるように単元構成の計画・実施をしていく。</p> <p>○少人数であることを生かして、あらゆる機会を通して発表等で自らの意見が生かされる場を充実させていく。</p> <p>○9年間の学びを意識し、学年に応じた課題を基にして話し合う活動の充実を図る。理論的に考え、発表する力を付けさせる。</p> <p>○課題探究的な学習を「主体的に学ぶ子ども」の育成の柱とし、自らの考えや情報を整理して発信できるよう指導の充実を図り、中学校のポロカルに繋いでいく。</p> <p>○授業の「時間・場の構造化」「活動の視覚化」「活動の単純化」「活動ルールの明確化」などUDを意識して指導する。</p>		
方法	検証の方法	<p>○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用。</p> <p>○全国学力・学習状況調査や学校評価等で行った独自の調査結果等の活用。</p> <p>○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用。</p>		